

自由民主党静岡市議会議員団

市政報告書

令和3年夏号




新型コロナ

静岡市 **なんでも相談ダイヤル**

ゼロ コロナ

0570-08-0567

毎日9:00～20:00

駿河区の道路のデコボコなどお気づきの点は静岡市 駿河道路整備課 電話054(221)1734へお気軽にお電話をくだされば幸いです。

こんにちは、静岡市議会議員の**畑田ひびき**です。
 静岡市議会では、都市建設委員長、都市計画審議会委員を務めています。6月議会では、新型コロナウイルスワクチン接種をはじめ、ひとり親家庭への生活支援給付事業、7月から行う県内マイクロツーリズム推進（以下参照）、10月に行うモバイル決済サービスを活用した地元消費拡大促進事業などの補正予算が可決されました。11月までのすべての希望する市民へのワクチン接種が完了する目標を定めています。副反応など不安の声にしっかりと説明をし、感染者数の減少につなげてまいります。



Pickup

静岡社会健康医学大学院大学が 葵区北安東に開学しました

本年4月に平成28年の構想から5年ほどの検討を経て、開学しました。先日、見学しました。一人の人間と向き合う治療医学と社会全体をみつめる社会健康医学。この2つが両輪で関わり合いながら、健康寿命の延伸につなげていくことが求められています。仕事と学業を両立するため金曜午後と土曜を中心に講義。オンラインなどの遠隔授業も実施。学長には、静岡市出身で京都大学名誉教授 宮地良樹医師（皮膚科学）を招へい。現在、一部、校舎を改修中です。公衆衛生科学、ゲノム医学、聴覚言語学があります。みなさまも、大学院大学の研究成果にご注目ください。



小学校中学校で 小中一貫教育が 来年度から いよいよスタート

県内マイクロツーリズム推進事業が 7月からスタートします

(静岡市観光・MICE 推進課 電話 054-221-1454)

特産品プレゼントキャンペーン

まちなか、オクシズ、丸子・用宗などの複数エリアに宿泊した県民に本市の特産品をプレゼントします。2エリア以上で、もれなく5千円相当の特産品。3エリア以上だと抽選千名に総額 1500 万円の豪華特産品をプレゼント。



満喫アクティビティ割引キャンペーン

県民が市内観光地を周遊するための企画乗車券や貸し切りタクシー利用料を割引します。



大里中(中田小、大里西小)

横井校長にお聞きしました。



教育目標として、主体性と協働性を高め、自己有用感を醸成することで『大好き「しずおか」、「SHIZUOKA」に貢献する大里の子どもたち』の育成を目指しています。

大里で活躍する人・魅力ある会社との出会いから、主体的・協働的な学び（探究）を進め、静岡への愛着と誇り、貢献しようとする気持ちを育むこととしています。小学生では、魅力のある会社を訪問することで地域愛を育てる、また、中学生では、魅力ある会社に商品開発などを提案することで貢献していきます。地域（学区や静岡市）の魅力ある企業と学校がWIN-WIN の関係での連携協力をお願いしていきます。



高松中(森下小、南部小、富士見小)

鈴木校長にお聞きしました。



教育目標として、自ら社会を生き抜くための確かな力を身に付けていく子どもの育成としています。高松中学校区の子どもの特性にあわせて、小中一貫教育の目指す方向性を決めました。本年度は、軸として道徳を掲げ、自主・自律・自由と責任を身に付ける主体性、希望と勇気克己と強い意志を身に付ける継続性、そして、思いやりや感謝を身に付ける社会性を重点目標にしています。鈴木校長は、中学校と小学校の先生方がお互いに授業を見ることで、9年間を見越しての子供たちの育む将来像を描くことができると効果を話しています。挨拶、清掃、時間、傾聴、表現の5つの基礎となる実践を例えば、言葉、合唱、美術や体育などの教科を通じて身に付けていくこととしています。



中島中(中島小)

南條校長にお聞きしました。



教育目標を「自らの力で切りひらく子ども」としています。小学校1年生の「地震のことを知ろう」から、5年生の救命講習、中学生から「大地震直後の中島中で生き抜くためのリアルな防災対策を考えよう」というテーマで9年間の学習を行います。

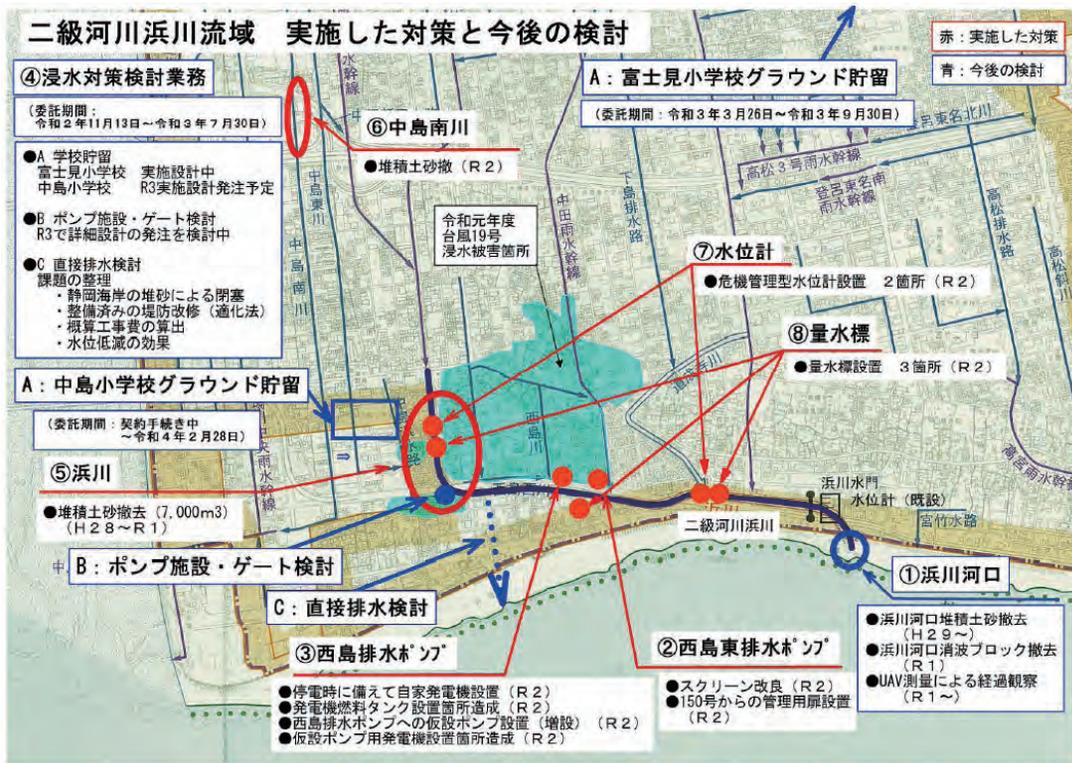
また、夢・魅力体験事業と題し、小学6年生が中学校で3日間、中学の授業や部活動、さらには地域の様々な職種の方を講師に招いて小中学生一緒にキャリア教育を体験しています。(6月)

子どもたちが将来、地域に愛着をもてるようにしたいと校長先生は熱意をもっています。地域と中学生がお互いに防災を通じて困っていることを支えあえるようになってきているそうです。



駿河区 西島地域の浸水被害をなくすために

2年前の10月12日午前6時ごろ、駿河区西島地区で、ひざ下あたりまで冠水する被害がありました。満潮と台風19号の影響で潮位が上がり、浜川から海へ排水できなかった雨があふれてしまいました。平成29年度から浜川の河口の堆積土砂の撤去、令和元年度から消波ブロックの撤去を行いました。さらに昨年度には、水位計を2か所設置し、西島排水ポンプの仮設ポンプの増設、停電時の自家発電機の設置を行いました。今年度には、中島小学校グラウンドの貯留施設の設計を行います。右図のB箇所でのポンプ施設やゲートの検討や直接海への排水が可能かを検討していきます。



6月定例会にて 本会議質問 ～こども目線のまちづくりをめざして～

質問 親や兄弟などの家族の介護や世話を子どもが行うヤングケアラーが増えてきています。学校に行けない、友達と遊ぶ時間がないなど健やかな成長に影響します。今後どのように支援していきますか。

答弁 令和元年度に市内すべての公立小中学校の教員対象にした実態調査では、ヤングケアラーの割合は、小学生は0.1%、中学生は0.2%。本人や第3者がヤングケアラーであることを気づくためには、その社会的認知度を上げる必要があります。相談・支援にあたる関係機関に対しては、会議や出前講座等を通じて、ヤングケアラーの定義等について周知を図ります。支援は、福祉、介護、医療、教育等の多くの分野における支援機関の連携が必要なため、市全体の支援体制を在り方について、国からの情報や先進市の状況も参考に検討していきたいと考えています。

日本ケアラー連盟
ホームページより



質問 子どもの貧困に関する情報は、子ども園、学校、児童相談所などがもっています。関係機関が連携して共有することで、支援がもれることが減ると考えます。どのように取り組んでいきますか。

答弁 本市では、すべての子どもが生まれ育った環境に左右されることなく、自分の可能性を信じ、未来を切り拓いていけるよう、行政・学校・地域が総がかりで切れ目なく支えていくという基本的な考え方のもと、「静岡市子どもの貧困対策推進計画」を策定しています。(中略)

支援が必要な子どもや家庭が抱える問題は複雑であり、子どもの貧困の状況も多様化していることから、幅広い支援を行うための連携強化が必要となります。そのためには、関係機関同士が正しく状況を把握し対応する必要があり、子どもの貧困に関する情報共有のあり方については、他の先進都市の状況なども参考にしながら、検討をしていきたいです。



南八幡に地域・多世代交流型住宅が完成

南部図書館南側に生涯活躍のまち(CCRC)静岡として、県内初の世代間や地域の交流を創る住宅を整備しました。健康教室や認知症予防教室も開催される予定です。



消防団員として活動



都市建設委員会で
あさはた公園を視察



水防演習



アピタでの南アルプス展



八幡山山頂看板設置



地域のこと、まちづくりのアイデア、お悩みなど、気軽にご連絡ください。

発行▶自由民主党静岡市議会議員団 担当 畑田 響
 〒420-8602 静岡市葵区追手町5-1 静岡市役所内
 電話▶054-254-2111(内線4511)
 メール▶bikkun531127@yahoo.co.jp

